

■ 次の文の□にあてはまる故事成語を、意味を参考にして、□から選んで記号で書きましよう。

(1) これ以上話してしまおうと□になる。……………(イ)

意味 よけいなもの。

蛇足…ある人たちが、ヘビの絵をかく競争をした。最初にかきあげた人が、よゆうを見せてヘビに足を付け加えたところ、「足があるのはへびではない」と言われて、負けとされてしまったという話からできた言葉。

(2) 全ての小説の中で、□といわれるものを読む。……………(オ)

意味 同じ種類のものの中で、特にすぐれているもの。

白眉…全頁優秀な五人の兄弟がいた。なかでもいちばん上の兄が最もすぐれていたが、この人には、まゆに白い毛がまじっていたという話からできた言葉。

(3) □で、野球チームのコーチとしてむかえた。……………(ア)

意味 仕事を引き受けてもらひついで、特にていねいにたのむこと。

三顧の礼…ある国の王が、国の軍師としてむかえたいと思った人物のもとを三度訪ねて、れいぎ正しくお願いしたという話からできた言葉。

(4) ばくとたかし君は、小さいころから仲のよい□だ。……………(カ)

意味 幼なじみ。

竹馬の友…子どもごろ、竹馬に乗って遊んだあいだからということからできた言葉。

(5) 兄が後ろ向きなことばかり言うので、不安な気持ちで□された。……………(ウ)

意味 ある状態になるのを、やらに助けること。

助長…なえを早く生長させようとして引っぱって無理にのばそうとしたところ、結局からしてしまった人物の話からできた言葉。「物事をよくするために手助けする」という意味で使われることもある。

(6) なまけていたことが先生の□にふれて、一時間説教された。……………(キ)

意味 目上の人のいかり。

逆鱗…「逆鱗にふれる」と使うことが多い。竜のあごの下には、ほかとはさかさに生えたうろこがあり、それにつれると竜がおこって人を殺すという話からできた言葉。

(7) 計画が□だったせいで、全く予定通り進まなかった。……………(工)

意味 物事をいいかげんにすること。

杜撰…杜撰という人物が作る詩は、詩を作るときのみまりに合わないものが多かったという話からできた言葉。詩を作ることを「撰」という。

- | | | | | | | | |
|---|------|---|------|---|----|---|----|
| ア | 三顧の礼 | イ | 蛇足 | ウ | 助長 | 工 | 杜撰 |
| オ | 白眉 | カ | 竹馬の友 | キ | 逆鱗 | | |

